

科目コード N-231	専門分野 次世代育成支援領域	単位数	必修 1単位
授業科目名	母性看護学概論	時間数	15時間
担当教員	専任教員	開講時期	1年後期
授業概要			
母性の健全育成のための援助を行うための導入編である。母性の概念を理解し、母性の対象及び特徴と母性看護の役割を学ぶ。生命を次世代につなげていくという課題を担っている母性の女性機能の基礎的な理解を深める。また生命と倫理についても考える。			
到達目標			
1. 母性看護の概念と母性看護の特徴を説明する。 2. 母性看護の基盤となる理論や概念を理解する。 3. 女性生殖器の構造と機能を説明する。 4. 母性の対象を取り巻く社会や環境、母性の現況を説明する。 5. 母性を取り巻く保健・医療・福祉の現状を理解し、関心が持てる。 6. 人の生命について自分の考えが深まる。			
ディプロマポリシーとの関連性			
☒ 1. 対象を身体的・精神的・社会的に統合されたかけがえない一人の生活者として理解している ☒ 2. 生命の尊厳と人権を尊重し、信頼関係を築く力を身につけている ☒ 3. 科学的根拠に基づき、健康課題に応じた基本的な看護を計画・実践・評価している ☒ 4. 地域社会の健康課題を理解し、多職種と連携・協働する姿勢を身につけている ☒ 5. 看護専門職としての責務を自覚し、倫理的判断に基づいて行動している ☒ 6. 主体的かつ継続的に学び、専門性を高めながら社会に貢献しようとする姿勢を身につけている			
授業計画			
回		授業方法	場所
第1回	母性看護の基盤となる概念	講義	教室1
	母性の特徴とリプロダクティブ・ヘルス/ライツ	講義	教室1
第2回	母性看護の対象理解	講義	教室1
第3回	母性の基盤となる概念	講義	教室1
第4回	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状	講義	教室1
第5回	母性看護に関する法律と施策	講義	教室1
第6回	意思決定・ヘルスプロモーションのための看護技術	講義	教室1
第7回	母性看護における倫理	講義	教室1
第8回	単位認定試験	試験	教室1
準備学習等			
次世代を育てていく自分たちの将来に必要な内容です。色々な教材を使用し自分でしっかりと考えましょう。国家試験に頻出される法律や制度も学びます。			
成績評価方法	筆記試験、小テストの総合的評価		
テキスト 参考書	医学書院)母性看護学概論 医学書院)女性生殖器 成人看護学9 メディックメディア)公衆衛生がみえる		
受講要件 ・備考			

科目コード N-232	専門分野 次世代育成支援領域	単位数	必修 1単位
授業科目名	母性看護実践論1:女性のライフサイクルの健康	時間数	15時間
担当教員	専任教員	開講時期	2年前期
授業概要			
ライフサイクル各期の女性の特徴を理解し、健康問題を解決するための基礎的能力を養う。 健康を維持・増進・思春期、成熟期、更年期の生理的変化心理的特徴を理解し、起こりやすい健康問題とケアについて学習する。			
到達目標			
1. ウィメンズヘルスとは何かを考える。 2. 女性のライフサイクルに与えるホルモンの影響を説明する。 3. 思春期・成熟期・更年期それぞれの身体的特徴と心理社会的特徴を理解する。 4. 女性各期に起こりやすい健康問題と母性機能が順調に発達、成熟、完了するための援助を学ぶ。 5. 自己のリプロダクティブヘルスを高めることができる。 6. 自己の健康を守り、健康問題出現時に適切に対応できる。 7. 女性生殖器患者の援助を学ぶ。			
ディプロマポリシーとの関連性			
☒ 1. 対象を身体的・精神的・社会的に統合されたかけがえのない一人の生活者として理解している ☒ 2. 生命の尊厳と人権を尊重し、信頼関係を築く力を身につけている ☒ 3. 科学的根拠に基づき、健康課題に応じた基本的な看護を計画・実践・評価している ☒ 4. 地域社会の健康課題を理解し、多職種と連携・協働する姿勢を身につけている ☒ 5. 看護専門職としての責務を自覚し、倫理的判断に基づいて行動している ☒ 6. 主体的かつ継続的に学び、専門性を高めながら社会に貢献しようとする姿勢を身につけている			
授業計画			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	ライフサイクルにおける女性の健康と看護の必要性	講義	教室2
第2回	思春期の健康と看護	講義	教室2
第3回	思春期に起こりやすい健康障害と保健指導	講義	教室2
第4回	成熟期の健康と看護	講義	教室2
第5回	妊娠の成立	講義	教室2
第6回	成熟期に起こりやすい健康障害と保健指導	講義	教室2
第7回	更年期の健康と看護	講義	教室2
第8回	更年期に起こりやすい健康障害と保健指導	講義	教室2
	女性生殖器疾患の看護	講義	教室2
	女性生殖器疾患の看護	講義	教室2
	単位認定試験	試験	教室2
準備学習等			
人体構造機能学・母性看護学概論等の既習学習の復習を行い臨んで下さい。事前学習課題を行い取り組みましょう。動画教材を利用しながら、理解・定着を目指しましょう。			
成績評価方法	筆記試験、小テストの総合的評価		
テキスト 参考書	医学書院)女性生殖器 成人看護学9 医学書院)母性看護学概論 医学書院)母性看護学各論 メディックメディア)公衆衛生がみえる ビジュラン)生体のしくみ		
受講要件 ・備考			

科目コード N-233	専門分野 次世代育成支援領域	単位数	必修 1単位
授業科目名	母性看護実践論2: 周産期と新生児の生理と病態	時間数	30時間
担当教員	専任教員、奈良医大附属病院NICU看護師	開講時期	2年後期
授業概要			
妊娠の成立や維持のメカニズム、分娩の経過・機序や異常分娩、産褥の生理と異常について学ぶ。 また妊婦・産婦・褥婦・新生児やその家族の心理や社会的変化を学習し、周産期の母子とその家族に対する看護を実践するための基礎的知識を学ぶ。			
到達目標			
1. 妊娠のメカニズムとプロセスを説明する。 2. 在胎期間に応じた胎児の発育を説明する。 3. 胎児付属物の働きを理解する。 4. 分娩の3要素と分娩の経過を理解する。 5. 褥婦の退行性変化を理解し、アセスメントの視点を理解する。 6. 褥婦の進行性変化を理解し、乳汁分泌の機序を理解する。 7. 新生児の生理学的適応を理解する。 8. 妊婦、産婦、褥婦の心理的特徴と適応を理解する。 9. ハイリスク妊娠、異常妊娠・分娩・産褥の病態を理解する。			
ディプロマポリシーとの関連性			
☒ 1. 対象を身体的・精神的・社会的に統合されたかけがえのない一人の生活者として理解している ☒ 2. 生命の尊厳と人権を尊重し、信頼関係を築く力を身につけている ☒ 3. 科学的根拠に基づき、健康課題に応じた基本的な看護を計画・実践・評価している ☒ 4. 地域社会の健康課題を理解し、多職種と連携・協働する姿勢を身につけている ☒ 5. 看護専門職としての責務を自覚し、倫理的判断に基づいて行動している ☒ 6. 主体的かつ継続的に学び、専門性を高めながら社会に貢献しようとする姿勢を身につけている			
授業計画			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	周産期看護概論／妊娠の成立	講義	教室2
第2回	妊娠期の身体的特徴 妊娠の生理 母体の生理的变化	講義	教室2
第3回	妊娠期の心理・社会的特性	講義	教室2
第4回	胎児の発育と健康状態の診断	講義	教室2
第5回	ハイリスク妊婦の看護／周産期に関する医療体制	講義	教室2
第6回	正常な分娩経過／分娩の3要素	講義	教室2
第7回	産婦の身体的・心理的变化、分娩が胎児に及ぼす影響	講義	教室2
第8回	分娩の異常と看護	講義	教室2
第9回	出生直後の子宮外生活への適応と退院までの生理的变化	講義	教室2
第10回	産褥期の身体・心理・社会的変化	講義	教室2
第11回	産褥期の進行性変化について	講義	教室2
第12回	産褥の異常と看護	講義	教室2
第13回	ハイリスク新生児と家族の看護	講義	教室2
第14回	ハイリスク新生児と家族の看護	講義	教室2
第15回	まとめと単位認定試験	試験	教室2
準備学習等			
既習学習内容を復習して授業に臨んでください。 動画教材を利用しながら、理解・定着を目指しましょう。			
成績評価方法	筆記試験、小テストの総合的評価		
テキスト	医学書院) 女性生殖器 成人看護学9 医学書院) 母性看護学各論・小児看護学各論 メディックメディア) 公衆衛生がみえる ビジュラン) 目で見える母性看護・周産期の実際と支援、eナーストレーナー) 母性看護技術		
参考書			
受講要件・備考			

科目コード N-234	専門分野 次世代育成支援領域	単位数	必修 1単位
授業科目名	母性看護実践論3:母子の看護過程と技術	時間数	30時間
担当教員	専任教員	開講時期	2年後期
授業概要			
正常な経過をたどる妊娠、分娩、産褥および、新生児の周産期を中心とした母子とその家族に対する看護を実践するための基礎的知識を学ぶ。さらに母性看護特有の技術の理論と方法を演習も含めて習得する。 またペーパーシミュレーションによる事例演習を通して、臨地実習における看護過程展開の基礎を学ぶ。			
到達目標			
1. 妊婦の健康状態についてのアセスメントを理解する。 2. 妊娠中の健康維持とマイナートラブルの予防について理解する。 3. 産婦の状態をアセスメントし、必要な日常生活の援助を理解する。 4. 産痛を緩和し、不安を取り除くケアを理解する。 5. 褥婦の退行性変化のためのアセスメントとケアを理解する。 6. 母乳栄養確立のための援助を理解する。 7. 新生児のアセスメントとケアを理解する。 8. 母性看護における看護過程の特徴や診断を理解する。 9. 母性看護の看護過程の基礎を学ぶ。 10. 妊婦・産婦・褥婦・新生児の援助に必要な技術を学ぶ。			
ディプロマポリシーとの関連性			
☒ 1. 対象を身体的・精神的・社会的に統合されたかけがえのない一人の生活者として理解している ☒ 2. 生命の尊厳と人権を尊重し、信頼関係を築く力を身につけている ☒ 3. 科学的根拠に基づき、健康課題に応じた基本的な看護を計画・実践・評価している ☒ 4. 地域社会の健康課題を理解し、多職種と連携・協働する姿勢を身につけている ☒ 5. 看護専門職としての責務を自覚し、倫理的判断に基づいて行動している ☒ 6. 主体的かつ継続的に学び、専門性を高めながら社会に貢献しようとする姿勢を身につけている			
授業計画			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	マタニティサイクルにおける看護過程の展開と妊娠・分娩・産褥の看護技術について	講義	教室2
第2回	妊娠・分娩・産褥の看護技術演習	演習	専門看護学実習室
第3回	マタニティサイクルにおける看護過程の展開、妊婦と胎児のアセスメントと看護	講義	教室2
第4回	褥婦と新生児の看護過程の展開	講義	教室2
第5回	褥婦・新生児の看護過程の展開 関連図と問題リスト	講義	教室2
第6回	褥婦・新生児の看護過程の展開 関連図と問題リスト	講義	教室2
第7回	産褥期の看護技術演習	演習	専門看護学実習室
第8回	経陰分娩後の褥婦・新生児の観察とアセスメント	講義	教室2
第9回	経陰分娩後の褥婦・新生児の観察とアセスメント	講義	教室2
第10回	経陰分娩後の褥婦・新生児の観察とアセスメント	講義	教室2
第11回	帝王切開で出産した褥婦・新生児のアセスメント	講義	教室2
第12回	帝王切開で出産した褥婦・新生児のアセスメント	演習	専門看護学実習室
第13回	褥婦・新生児の看護技術演習	演習	専門看護学実習室
第14回	褥婦・新生児の看護技術演習	演習	専門看護学実習室
第15回	まとめと単位認定試験	試験	教室2
準備学習等			
実習に必要な技術の実践を学びます。しっかりと取り組み母性看護特有の技術の練習をしましょう。			
成績評価方法	筆記試験:55%(終講試験40点+小テスト15点)、技術演習時の態度や実施状況:15%、看護過程の内容等:15%や援助計画の内容等:15%で総合的評価を行う。		
テキスト 参考書	医学書院)女性生殖器 成人看護学9 医学書院)母性看護学各論 メディックメディア)公衆衛生がみえる eナーストレーナー)ブックライブラリー(ウエルネスからみた母性看護過程・母性看護技術) ビジラン)目で見える母性看護/産褥経過のアセスメントと支援の実践・CKS		
受講要件 ・備考			

科目コード N-235	専門分野 次世代支援領域	単位数	必修 1単位
授業科目名	小児看護学概論	時間数	15時間
担当教員	専任教員	開講時期	1年後期
授業概要			
小児医療および小児看護学の変遷と専門性および、看護の役割と看護上の倫理を学ぶ。			
到達目標			
1. 小児の特性および小児看護の役割を理解する。 2. 小児医療における倫理について理解する。 3. 子どもを取り巻く社会と制度について理解する。 4. 小児と家族を支える保健・医療・福祉のシステムおよび動向を理解する。 5. 子どもの死亡統計と子どもの事故について理解する。			
ディプロマポリシーとの関連性			
☒ 1. 対象を身体的・精神的・社会的に統合されたかけがえない一人の生活者として理解している ☒ 2. 生命の尊厳と人権を尊重し、信頼関係を築く力を身につけている ☒ 3. 科学的根拠に基づき、健康課題に応じた基本的な看護を計画・実践・評価している ☒ 4. 地域社会の健康課題を理解し、多職種と連携・協働する姿勢を身につけている ☒ 5. 看護専門職としての責務を自覚し、倫理的判断に基づいて行動している ☒ 6. 主体的かつ継続的に学び、専門性を高めながら社会に貢献しようとする姿勢を身につけている			
授業計画			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	小児看護の特徴と理念、子どもと家族の動向、南和地域の現状	講義	教室Ⅰ
第2回	小児看護の変遷と子ども観	講義	教室1
第3回	小児看護における倫理	講義	教室1
第4回	家族の特徴とアセスメント、子どもにとっての家族とは	講義	教室1
第5回	子どもと家族を取り巻く社会	講義	教室1
第6回	子どもの医療・子どもの安全	講義	教室1
第7回	子どもの事故・外傷と看護	講義	教室1
第8回	単位認定試験	試験	教室1
準備学習等			
学習管理システム(LMS)にあるシラバスを事前に確認し、事前学習に取り組みましょう			
成績評価方法	授業参加状況、筆記試験、課題を総合的評価		
テキスト 参考書	医学書院)小児看護学概論、小児臨床総論 メディックメディア)公衆衛生がみえる ビジュラン)子どもの発達と支援、目で見える子どもの保健 成長発達編 eナーストレーナー		
受講要件 ・備考			

科目コード N-236	専門分野 次世代育成支援領域	単位数	必修 1単位
授業科目名	小児看護実践論1:子どもの成長・発達と看護	時間数	15時間
担当教員	専任教員	開講時期	2年前期
授業概要			
「発達」という視点から学習を深め、身体的・心理的・社会的側面から、対象がどのような著しい変化をたどるのかを理解する。小児の生育において、不適切な環境や養育が与える影響など、小児期が抱える健康問題を含めて学習し、健康に生きるための小児と家族の援助について学ぶ。			
到達目標			
1. 小児期の対象・家族の特徴を学び、小児看護を理解する。 2. 小児各期の成長・発達とその特徴を理解する。 3. 小児各期の健全な成長発達のための養育と家族の看護を理解する。 4. 小児各期に応じた遊びの特徴と意義について理解する。			
ディプロマポリシーとの関連性			
☒ 1. 対象を身体的・精神的・社会的に統合されたかけがえのない一人の生活者として理解している ☒ 2. 生命の尊厳と人権を尊重し、信頼関係を築く力を身につけている ☒ 3. 科学的根拠に基づき、健康課題に応じた基本的な看護を計画・実践・評価している ☒ 4. 地域社会の健康課題を理解し、多職種と連携・協働する姿勢を身につけている ☒ 5. 看護専門職としての責務を自覚し、倫理的判断に基づいて行動している ☒ 6. 主体的かつ継続的に学び、専門性を高めながら社会に貢献しようとする姿勢を身につけている			
授業計画			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	子どもの成長・発達	講義	教室2
第2回	乳児期の特徴	講義	教室2
第3回	乳児期における子どもと家族の看護	講義	教室2
第4回	幼児期の特徴	講義	教室2
第5回	幼児期における子どもと家族の看護	講義	教室2
第6回	学童期の成長と養育と看護	講義	教室2
第7回	思春期の成長と養育と看護	講義	教室2
第8回	単位認定試験	試験	教室2
準備学習等			
子どもの成長と発達を含め子どもを理解することは小児看護の基本です。 動画教材を利用し、理解・定着を目指しましょう。			
成績評価方法	授業参加状況、筆記試験、課題を総合的評価		
テキスト 参考書	医学書院:小児看護学概論、小児臨床総論、小児臨床看護各論 メディックメディア:公衆衛生がみえる ビジュラン:目で見える子どもの保健 成長発達編、乳幼児の発達と保育、赤ちゃんの一年 子どもの栄養と支援、事例で学ぶ小児の医療安全 転倒・転落の防止 eナーストレーナー		
受講要件 ・備考			

科目コード N-237	専門分野 次世代育成支援領域	単位数	必修 1単位
授業科目名	小児看護実践論2:障害・病気を持つ子どもの看護	時間数	30時間
担当教員	専任教員	開講時期	2年後期
授業概要			
健康上の問題をもつ子どもが、どのようなプロセスでその問題を受け止め対応し、回復過程をたどるのか、また子どもの健康上の問題に伴う家族の悲しみにどう寄り添い支援するのか これら子どもの看護における総論を学ぶ。また少子化による育児環境の中で、社会環境の影響を踏まえ、地域医療・看護の果たす役割を学ぶ。			
到達目標			
1. 病気や障害が子どもと家族に与える影響と看護を理解する。 2. 子どもの疾病の経過と症状別看護の特徴を理解する。 3. 小児看護の基本となるアセスメントと看護技術を身につける。 4. 障がいのある子どもの学校生活を知り、子どもの特徴および関わりが理解できる。			
ディプロマポリシーとの関連性			
☒ 1. 対象を身体的・精神的・社会的に統合されたかけがえのない一人の生活者として理解している ☒ 2. 生命の尊厳と人権を尊重し、信頼関係を築く力を身につけている ☒ 3. 科学的根拠に基づき、健康課題に応じた基本的な看護を計画・実践・評価している ☒ 4. 地域社会の健康課題を理解し、多職種と連携・協働する姿勢を身につけている ☒ 5. 看護専門職としての責務を自覚し、倫理的判断に基づいて行動している ☒ 6. 主体的かつ継続的に学び、専門性を高めながら社会に貢献しようとする姿勢を身につけている			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	病気・障害をもつ子どもと家族の看護	講義	教室2
第2回	子どもの状況に特徴づけられる看護	講義	教室2
第3回	子どもにおける疾病の経過と看護	講義	教室2
第4回	症状を示す子どもの看護(発熱・呼吸困難)	講義	教室2
第5回	症状を示す子どもの看護(嘔吐・下痢・脱水)	講義	教室2
第6回	症状を示す子どもの看護(意識障害・痙攣)	講義	教室2
第7回	障害のある子どもの看護	講義	教室2
第8回	小児看護技術(ヘルスアセスメント・身体計測・バイタルサイン)	講義	専門看護学実習
第9. 10回	事例を用いた症状アセスメントと技術演習	演習	専門看護学実習
第11回	奈良県立大淀養護学校について	講義	教室2
第12回	奈良県立大淀養護学校 交流会準備	講義	教室2
第13回	奈良県立大淀養護学校 児童・生徒との交流会	実習	大淀養護学校
第14回	奈良県立大淀養護学校 交流後のまとめ	講義	教室2
第15回	まとめと単位認定試験	試験	教室2
準備学習等			
既習学習内容を復習して授業に臨んでください。 動画教材を利用し、看護のイメージを高めましょう。			
成績評価方法	出席状況、筆記試験、レポート課題を総合的評価		
テキスト 参考書	医学書院)小児看護学概論 小児臨床看護総論、小児臨床看護各論 メディックメディア)公衆衛生がみえる ビジュラン)小児のフィジカルアセスメント、LD・ADHD・高機能自閉症等の理解と支援 小児在宅ケア、小児看護技術 eナーストレーナー)小児看護技術		
受講要件 ・備考			

科目コード N-238	専門分野 次世代育成支援領域	単位数	必修 1単位
授業科目名	小児看護実践論3:病気を持つ子どもの看護過程	時間数	30時間
担当教員	専任教員	開講時期	2年後期
授業概要			
子どもは、その成長・発達段階において、それぞれの発達に応じた能力を駆使して、不快な症状の発信を行う。その発信を捉えるためには、発達に応じた諸機能の理解ときめ細やかな観察力、さらに心身の発達に応じた援助技術と発達への関わりが必要となる。ここでは、小児期に特有な機能障害をとりあげ、発達への援助と家族への支援を包含した看護のあり方を学ぶ。			
到達目標			
1. 機能障害のある小児と家族の看護の特徴を理解する。 2. 対象事例に必要な看護技術を身につける。 3. 対象事例の関わり方・援助の基本的看護技術を活用する。			
ディプロマポリシーとの関連性			
☒ 1. 対象を身体的・精神的・社会的に統合されたかけがえのない一人の生活者として理解している ☒ 2. 生命の尊厳と人権を尊重し、信頼関係を築く力を身につけている ☒ 3. 科学的根拠に基づき、健康課題に応じた基本的な看護を計画・実践・評価している ☒ 4. 地域社会の健康課題を理解し、多職種と連携・協働する姿勢を身につけている ☒ 5. 看護専門職としての責務を自覚し、倫理的判断に基づいて行動している ☒ 6. 主体的かつ継続的に学び、専門性を高めながら社会に貢献しようとする姿勢を身につけている			
授業計画			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	感染症をもつ子どもと家族の看護	講義	教室2
第2回	免疫・アレルギー機能障害をもつ子どもと看護	講義	教室2
第3回	代謝障害、腎機能障害をもつ子どもと看護	講義	教室2
第4回	先天性異常の疾患をもつ子どもと家族の看護	講義	教室2
第5回	悪性新生物疾患をもつ子どもと家族の看護	講義	教室2
第6回	循環器疾患をもつ子どもと家族の看護(フォロー四徴症)	講義	教室2
第7回	救急処置が必要な子どもと家族の看護	講義	教室2
第8回	循環器疾患をもつ子どもと家族の看護(川崎病)	講義	教室2
第9回	川崎病の小児と家族の看護過程のアセスメント	講義	教室2
第10回	川崎病の小児と家族の看護過程(関連図・優先順位・看護問題)	講義	教室2
第11回	川崎病の小児と家族の看護過程(看護目標・看護計画)	講義	教室2
第12回	川崎病の小児と家族の看護過程(看護目標・看護計画)	講義	教室2
第13回	看護技術(輸液ポンプ・シンリンジポンプ)	演習	専門看護学実習
第14回	看護技術(輸液ポンプ・シンリンジポンプ)	演習	専門看護学実習
第15回	まとめと単位認定試験	試験	教室2
準備学習等			
既習学習内容を復習して授業に臨んでください。 動画教材を利用し、看護のイメージを高め、小児特有の看護や技術について理解を深めましょう。			
成績評価方法	出席状況、筆記試験、看護過程レポート課題の総合的評価		
テキスト 参考書	医学書院)小児看護学概論 小児臨床看護総論、小児臨床看護各論 メディックメディア)公衆衛生がみえる ビジュラン)健康保健 目で見ると子どもの保健 病気編、小児看護技術 eナーストレーナー)小児看護過程、小児看護技術		
受講要件 ・備考			